

編集後記

平成29年第1号の「全油販連NEWS」をお届けします。

* 日本経済は長期化していた足踏み状態から、輸出の持ち直しや公共投資の増加、個人消費が徐々に底堅さを取り戻すことにより、緩やかな回復基調に転じると見られています。トランプ大統領の誕生による金融市場の混乱は短期間で収束し、米国景気回復への期待感が高まった状態が維持されているが、公約がどの程度実現されるかは不透明であり、期待感が急速に後退して金融市場が混乱することで、世界経済が悪化するリスクもあると考えられています。

＜日本植物油協会から製油業界に関連する平成28年10大ニュースが発表された＞ 平成28年製油業界10大ニュース

- 1位 米国産大豆3年連続で豊作1億トン超え、世界生産も史上最高予想
- 2位 トランプ氏が次期米国大統領に、TPPの油脂関税等植物油業界への影響は？
- 3位 カナダ菜種は一部未収穫も史上最高予測
- 4位 今年も植物油が話題に、若い女性も含め評価高止まり、オリーブ油、あまに油
えごま油、こめ油、胡麻油等の需要も活発化、健康志向の高まりが追い風
- 5位 国内大豆搾油量が3年連続の増加（2年連続で200万トン水準か）
- 6位 トランプ相場の為替円安と米国大豆バリュー上昇
- 7位 エルニーニョに伴うパーム油減産で2012年9月以来の3,000マレーシアリ
ンギット超え
- 8位 原料原産地表示制度の対象品が拡大の方向で検討が進み、植物油も対象に
- 9位 オリーブ油はイタリアをはじめ、スペイン、ギリシャ、チェンジアなど主要国
で減産予想
- 10位 USSEC60周年記念、日米絆深める

(編集係：岡本・松山)

全油販連ニュース(H29-No.1)

＜非売品＞

全国油脂販売業者連合会

発行人 宇田川 公喜

編集人 岡本 健郎

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-12

油商会館ビル8F

TEL 03-3666-4356

FAX 03-3666-4399